

小倉金之助

「数学教育論集」の序文原稿

(一九五八年十月十日)

別丁

インビル(本文別カレ)

コレヨリ 月次マデ : , II , III , IV ... で 255555

1

ス

(20x10)

ま え が き
 5号3ページ 4号 12ページ 4 (15分) 15分

□ 今日 は ゆが 国 に お け る 数 学 教 育 の 轉 換 期 だ
 あり。 戦 後 へ お け る ア メ リ カ 式 教 育 の 情 算 へ
 あ たり 一 方、 ゆが 科 学 ・ 技 術 の 振 興 に ふ さ ゆ
 しい 近 代 化 を 遂 げ な け れ ば な ら ない。 二
 い 二 重 の 大 き な 課 題 を 前 に し て、 数 学 教 育
 界 中、 理 論 的 な も 実 践 的 な も、 ひ い よ う な 話
 気 を 呈 し て き た。
 □ ち ょ う ど こ う い う 時 機 に、 私 は 新 評 論 の 美

ゆがゆがの

新評論 原稿用紙

No.

1

作太郎さんの御好意によ^って、[△] 数学教育に關
 する旧稿をまとめることにな^った。[△] この本は
 うち^ろ人今日の要求に^{TEI}對^して、[△] 直接に答える
 ような性質のものではない。[△] けれども、[△] この
 なかには、[△] 良きいせよ悪しきいせよ、[△] 約半
 世紀にわたる、[△] わが数学教育界の實^態が反映
 され、[△] 私の貧しい歩みの跡が、[△] まざまざと記
 録されている。[△] この旧稿のなか^で私は、[△] 明ら
 かに数多くの誤謬を犯して^{きた}、[△] います。ま
 が、~~数学教育~~諸問題にたい^{する}、~~責任ある~~

~~に對する~~現實の

と主張の
批判をおこつたり、かつよい主張を語つて
~~も、~~ ~~どんなに~~ 困難なことをあつたを想うの
であるが、^{かような} ~~なうい~~ 数学教育批判の
ささやかな一資料として、~~この~~ ^書 本を ~~読者諸~~
君 ~~に~~ 提供する ~~こと~~ は、^私 の悦び
とするところである。

↑
1774

□ 私は ~~ほとんど~~ 半世紀 ^{以来} ~~以前~~、数学教育に関心
をもち、^来 ~~た~~ もつた、自分で小学校や中学
校を教えた経験がないばかりでなく、いわゆる




「教師」といふ自覚をもつて、教職に就事し

たに せか、ほ とんが、 なか、た。 これは決して 誇

張^の~~の~~言葉ではない。私は数学科育の実践家

~~として~~ ~~立~~ → ~~く~~ い ~~の~~ で ~~は~~ な く ~~あ~~ 敬学部育

の批評 ~~を~~ ないし研究に 興味 をもち 専門外 ではない

の い あ る   

私は数学科教師となった短い期間に、

歳で $\sqrt{}$ 数学教育の根 \square 問題を \square を書いた \square しかし~~敬~~

育問題に熱心になつたのは、むしろそれから後

で、療養生活を送って教師をやめてからであ

3. [△] それもはじめは数学史の研究に専心し
 たので、[△] 本義に数学教育と研究したのには、[△] 広島
 文理科大学の講義(1931^年)のころからであり、[△] 数
 学教育史(1932^年)はその収穫の一つであつた。[△]
 ところが、尚もなく、[△] この間の標題から、[△] つ
 いに暗い谷間に、^{はい} ~~△~~ [△] たので、[△] ままた、[△] 数学史
 も、[△] また現代数学教育史をも書く機会を失な
 った。[△] この危機において、[△] 私は数学[△] 科学の大
 衆化や、[△] 数学[△] 物理学[△] 工学の統一[△] を説
 たりするに過ぎなかつた。[△]

☐戦後の[△]数学教育の研究は[△]かつてないほど
 盛んになっ[○]てまたが[△]なかい^{あひ}~~病~~病床に暮してい
 る私は[△]ごく狭い範囲のほかに[△]数学教育の実
 情について知らない人間[△]な[○]った[△]。25年来懸案の
☒現代数学教育史[△]も[△]黒田孝郎☐横地・清 両
 君の協力のおかげで[△]鋸島信太郎さんと共著
 で[△]辛うじて昨年の病間に世に送[○]ること
 できた私なりである[△]。

↑1冊アタ

☐さて~~この書物は~~の一卷本のまとめよと
 手紙を大まか

(20×10)

新評論 原稿用紙

No.

う、方針の下に、^{私は}大矢卓一君とふたりで、旧
 稿から20篇を^選擇した。このまじりの^感整集を
 一^につも載せたいものを多く採り入れ、カレ
 ども重複するものは^選け、できるなら、うらエ
 テ^の一に富んだ^選集にした。さうして大矢君
 の好意によ^て、手際よく^編集されたばかりで
 なく、興味深い解説風のあとがきも頂いた
 で、特色のある書物になった^かとおもわれる。
 文章は、やむをえない、用文のほか、ぜんぶ
 新假名づかいに統一し、^引難字を少なくして、堅く

(20×10)

新評論 原稿用紙

るしい文章を申やわらけて読みやすくした。
 印刷のまわす直前、幸に健康にめぐまれた
 ので、ずいぶん多くの増訂を~~おこなった~~^{加えかつ}追記を
 添えることとした。序文の注はせんみ(1)(2)の
 通番号による脚注とし、新しく加えた脚注
 は*印をつけて区別した。
 校正は新評論編集部の方々のほか、初校
 を大矢君が、再校を私が見ることとした。
 この書の出版については、まず大矢英一君
 の盡力と、美作太郎さんおよび編集部の方々

(20×10)

新評論 原稿用紙

に 買 っ と ち ぎ 甚 太 多 か っ た。 ま 太 五 十 嵐 美 枝 子
 さ ん か ら は 校 正 に つ い て 助 け て い た だ い た。 こ
 れ ら の 方 に 心 か ら 感 謝 の 意 を 表 し た い と お
 も っ 。

5号2ハ174

□□ 1958年 10月10日

小倉 金之助 □□□

No.

1

左 右 中 央

 (20×10)

新評論
原稿用紙

9
p

957

行商
9和全

No.

左右 5号27パイ=組込 (左右中央)

数学教育進展のために

数学教育の改造問題

専門教育における数学の革新

↓ 5号 21.1

これら何をなすべきか

数学教育の再建

小学算術に對する所感

↓ 5号 21.1

数学の大衆化

科学大衆化の意義

(20×10)

新評論 原稿用紙

No.

↑ 2nd 5号 2nd 1

数学教育 (岩波講座 数学) ...

米国のにおける中等教育数学の改造 ...

↑ 2nd 5号 2nd 1

グラフの思い ...

計算法はどのようにに善化したか ...

(1) 3 イ 2 の 1 高い立場から見た初等数学 ...
を読む ...

↑ 2nd 5号 2nd 1

理論数学と実用数学との交点 ...

物理学と数学

9P24

↓ 222 5号21.1

9P
□ 附録

~~8号21.1~~
~~□ 附録~~

数学教育関係著作目録

--- ...

↓ 222 5号21.1

□ あとがき (大矢 雲一)

9P

No.

(20×10)

新評論 原稿用紙

「組み立て」は前にならう。

< 一行アケ >

□おわりには、読者諸君にお願ひ申したいことがある。△校正中にこの旧稿を何度も読みかえしてみるも、△このなかには、小学校□中学校における本格的な数学教授法について語ることが、△意外なほど少ないし、△またいわゆる数学教育の科学的研究らしいものも、△ほとんど書かれていない。△そして、△数学教育そのものの枠をこえたような、△ヒューマニステイックな△科学観に触れたり、△民衆の一人として、△民衆

(20×10)

新評論 原稿用紙



9
ホ

No.

の立場と庶民的感觉の上からの感想^をどうか、

多く盛られているような気がする

□ 2 の よう に 反 省 し て み る と、 “ 羊 頭 を 掲 げ ”

て狗肉を賣る^ッといった点で、^ッ読者諸君から

お叱りを受ける方も知れないのである。けれ

でも、私自身が、もともとそのような人間なの

であるし、
 2とにこの書物^はよかれあしか

れ、かなり自分の体臭を~~伝~~伝える ような本だ”

と、感じてゐる。え、う、意味で、とくに、^上

さんの御了解をお願ひいたしたいと思ふ

9. 木。

No.

 (20×10)

新評論 原稿用紙



左右中央

4全50

524

附録

5全7+

~~5936+~~ 数学教育関係著作目録

☐ この目録に載せた50篇は、数学教育に関

係があると思われる単行書・論文・随想など

 の主なるもので、^{発表の}年代順に列べられている。

 (単なる^{数学や}数学史と考えられるものは載せて

いない)。ゴシック体のものは単行本で、

刊行の順に [I], [II], ... のしるしをつけた。

また [1], [2], ... のようなしるしのある20

篇は、この書物に収録してあるもので、[]

(20×10)

新評論 原稿用紙

行間6号全角

のなかの数字は、配列の順序を示している。

○また感想○随筆集

○○(1)科学的な精神と数学教育(1937, 昭和12), 岩波書店.

○○(2)科学の指標(1946, 昭和21), 中央公論社.

○○(3)一数学者の記録(1948, 昭和23), 酣燈社, “学匠選書”

○○(4)数学教育の刷新(1949, 昭和24), 大阪教育図書株式会社.

〇〇(5) 数学の窓から (1953, 昭和28),

角川書店, “~~新~~角川文庫.”

〇〇(6) 近代日本数学 (1956, 昭和31),

新樹社.

〇〇(7) 一数学者の肖像 (1956, 昭和31),

社会思想研究会出版部 “現代教
養文庫”

のなかには、数学教育関係の論稿¹²⁾ 散在す

る。つきり目録には、上の書物を(1), (2),

... という番号で引用するところも

↓
-5行74

[18] □ 1. クラインの「高い立地」を見初

等数学』を読む(1909~10, 明治

42~43). 『東京物理学校雑誌』卷

18~19.

2. 欧米諸国における初等幾何学教科

書に就いて(1913, 大正2). 『ルーエ』

コンカルス初等幾何学 I の附録.

3. 文部省教員検定試験数学内題の批

判およびその改良私見(1917, 大正

6). 『現代の科学』2月号. 『ルーエ』

(20×10)

ニ
去
リ

新評論 原稿用紙

コンパルス初等幾何学』Iの第4版

(1919)からの序に轉載。(1)に抄

録。

[19] 4. 理論数学と実用数学との交渉 (19

19, 大正8). 『東京物理学校雑誌』

巻28.

5. 物理学と幾何学との交渉 (1922,

大正11). 『日本中等教育数学会誌』

誌 巻4. (1)に収録.

6. 科学思想の普及に關する二・三の感

想(1923, 大正12). 『思想』1月号.

[5] 7. 数学教育の意義(1923, 大正12). 『日

本中等教育数学会雑誌』巻5.

[I] 8. 数学教育の根本問題(1924, 大正13).

イデア書院. 戦後版(1953, 昭和28),

玉川大学出版部.

9. 数学教育改造の基調(1925, 大正14),

『算術教育』9月. (4)に収録.

10. 数学教育の精神(1925, 大正14), 『教

育学術界』(1)に収録.

満25年記念号.

(20×10)

新評論 原稿用紙

No.

[15] 〇 11. △ 米国における中等教育数学の改造

(1925, 大正14). 『数学教育資料』

第2輯.

[II] 〇 12. △ カジヨリ初等数学史 [井出了庸門氏共

訳, 三上義夫氏校閲] (1928, 昭和3).

山海堂. 改訂増補版 [平田寛, 黒田

孝郎両氏協力] (1955~56, 昭和30~

31). 小山書店.

13. △ ジョーン・ハリー における数学の实践性

(1930, 昭和5). 新宮恒次郎訳『ハ

り、初等実用数学』の序 (1) に

収録。

[16] 14. グラフの思い出 (1931, 昭和6). 『高

等数学研究』11月。

15. 数学と教育 (1932, 昭和7). 岩波講

座『教育科学』3月, (4) に収録。

[9] 16. わから何をなすべきか (1932, 昭和

7). 『算術教育』4月。

[Ⅲ] 17. 数学教育史 (1932, 昭和7), 岩波書店。

戦後版 (1956, 昭和31)。

[6] 〇 18. 数学教育進展のため (1932, 昭和

7). 『日本中等教育数学会雑誌』巻14.

[7] 〇 19. 数学教育の改造問題 (1934, 昭和9).

『中央公論』10月.

20. 数学教育の歴史的基礎 (1935, 昭和¹⁰~~9~~).

健文館師範大学講座, 数学教育3

月. 『数学史研究』I (1935) に“日本教

学教育の歴史性”と改題して収録.

21. 故新宮恒次郎君をおもむ (1935, 昭和

10). 『学校数学』4月.

(20×10)

新評論 原稿用紙

No.

[14] 22. 数学教育(1935, 昭和10). 岩波講座

座『数学』8月.

23. 数学と民族性(1935, 昭和10). 『中央

公論』11月. (1), (3), (5) に収録.

24. 現代日本の数学教育について(19

36, 昭和11). ラジオ放送, 4月.

(1), (4) に収録.

25. 数学教育座談会[連記](1936, 昭和

11). 『算術教育』12月.

26. 現代における数学教育の動向(19

(20×10)

新評論 原稿用紙

No.

37, 昭和 12). 『信濃教育』 3月. (1),

(4) に収録.

[12] 27. 数学の 大衆化 (1937, 昭和 12). 『実

践教育講座』 6月.

[10] 28. 数学教育の 再建 (1938, 昭和 13). 『新

輯教育数学講座』 11月.

[8] 29. 専門教育における 数学の 革新 (193

9, 昭和 14). 『東京物理学校雑誌』 2,

3, 4月.

30. 数学教育 特に 数学の 大衆化 につい

(20×10)

新評論 原稿用紙

No.

て (1939, 昭和 14). 『大塚 数学令語』

卷 7.

[11] 031. 小学算術に對する所感 (1939, 昭和

14). 『教育女性』1, 2月 および 『算術

教育』2月.

[13] 032. 科学大衆化の意義 (1940, 昭和 15).

『改造』1月.

[20] 033. 物理学と数学 (1940, 昭和 15). 岩波

講座 『物理学』9月.

34. 中学校数学教授要目の刷新 (1942,

昭和 17). 朝日新聞, 4月. (2) 収

録.

35. 科学教育の反省——特に 数学教育

について (1946, 昭和 21). 『新世代』

4月. (2) 収録.

[1] 36. 科学教育の民主化 (1946, 昭和 21), 河出書房,

『評論』5月.

37. 科学教育の歴史的基礎 (1946, 昭和

21). 『改造』6月. 『数学史研究』II (19

48) に 収録.

(20×10)

新評論 原稿用紙

38. 科学教育をめぐって [座談会] (19

50, 昭和25). 世界評論社 『教育』 2月.

[2] 39. 数学教育を発展させる 89 (1951, 昭

和26). 『教育手帖』 3月.

40. 私の信条 (1951, 昭和26). 『世界』 4月.

岩波新書『続私の信条』 (1951) に収録.

(5) に抄録.

[3] 41. 数学教育研究についての一画 (19

52, 昭和27). 『算数教育』 4月.

42. 現代数学教育の先駆者 (1952, 昭和

(20×10)

新評論 原稿用紙

27). 国土社『教育』9, 10, 12月.

[4] 43. 水戸科学者たるを恥ず (1953, 昭

和28). 『改造』1月.

44. 25の発明家 (1955, 昭

和30). 毎朝日新聞, 2月. (6)に収録.

45. 初等数学と一般大衆 (1955, 昭和30).

小山書店『新初等数学講座』月報,

6月. (6)に抄録.

46. 国民大衆と科学者との交流 (1956,

昭和31). 『自然』5月. (7)に収録.

(20×10)

新評論 原稿用紙

No.